

本校は「未来へつなぐ教科・領域の授業づくり」という研究主題のもと、研究を進めて3年目に入ります。未来を生きる子供たちが各教科・領域の学習で習得すべき力とは何であるか、そのために必要な学びのプロセスはどのようなものであるべきかを問い、活動とリフレクションを重ねることで新たな実践を見出したいと考えます。

令和元年度 研究教員紹介

研究教科・領域	研究教員	共同研究者
国語（書写）	三谷 早苗	住川 英明
国語	竹内 由美	小笠原 拓
社会	尾崎 隆宏 田中 雅子	高橋 健司
算数	村上 弘樹	矢部 敏昭 溝口 達也
理科	磯江 孝	泉 直志
生活	山本 紗弓	福山 寛志
音楽	谷口 峻音	鈴木慎一朗
図工	堀 愛	武田 信吾
体育	夏目 貴史	関 耕二
道徳	杉谷 義和	坂本 哲彦 (山口市立上郷小)
外国語	青木 陽子 横山 由佳	足立 和美
プログラミング教育	完田 八郎	小林 祐紀 (茨城大学教育学部)
知財創造教育	乾 道夫	植木 賢 藤井 太平 (医学部附属病院)

本年度は、鳥取大学附属学校4校園の研究とは別枠で、「知財創造教育」（3年計画の1年次）にも取り組みます。鳥取大学医学部が考案したイノベーション教育であり、現代的な課題「知的財産に関する教育」を推進する中で、「主体性」「協働性」「創造性」を培い、よりよい生き方や社会をめざそうとする情意や態度の育成を目的とする研究です。内閣府知的財産戦略推進事務局への提案を目指しています。

研究の実際

本校では、基本的に毎週月曜日を「研究日」としています。主に以下に挙げるような内容を研究部で計画し、進めています。

- ・校内研修会
- ・共同研究者との打ち合わせ
- ・教科・領域3部会での話し合い
- ・個人研究

以下に、研修の様子（4月15日）を紹介します。

①道徳科の研修



道徳科の研究のプレゼンテーションを行いました。「自我関与」「共有化」「自己内対話」をキーワードにした道徳授業の提案がありました。今後も各教科・領域の取組を共有して、附属小の研究テーマ「未来へつなぐ教科・領域の授業づくり」に向けて研究に取り組み、子どもたちの生き方にまで響く大きな力を付けていくような魅力ある授業を提案していきたいと思えます。

②タブレットの活用についての研修



年度初めの研修として、PCやタブレットなどのICT機器を、授業の中で有効に活用していくための教員研修を行いました。学習單元の中で「いつ使うのか」「何のために使うのか」を明確にして、授業実践での活用につなげていきます。